

各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

2 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	国語
グループ名、人数		4グループ 10名		担当教員	◎程田 松本
ねらい		(1) 国語の知識や技能を身に付け、言語文化に親しむ。 (2) 関わりの中で伝え合う力を高め、思いや考えをまとめる力を養う。 (3) 地域社会への興味関心を広げ、思考力を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	平仮名、かたかな、漢字の読み、書き	通年	○一人一人の課題に合ったワークシート等を作成し、練習をする。	・書き順や熟語をパワーポイント等を使用して確認する。	
4	自己紹介(他者紹介)	4	○伝える内容についての項目をあらかじめ提示する。 ○聞き取るポイントを伝える。 ▲項目に沿って自分のことについて考えることができる ▲自己紹介の内容を他者へ伝えることができる ▲ほかの人の発表を聞き取ることができる。	・名前カード 自己紹介ワークシート ・ゲームを通して楽しく互いを知ることができるように工夫する。	
5	作文	6	○体験したことを振り返り、作文を書く。 ▲メモに書いたことを文章にすることができたか。	・体験を振り返るための資料や写真、映像などを提示する。 ・ゲームや手本を通して、作文の形や書き方を丁寧に身に付けられるようにする。	
6	意味調べ かるた	8	○国語辞典で言葉の意味を調べる。 ▲必要な情報を収集できたか ▲言葉の意味に応じて仲間分けをすることができる	・五十音表を用意する。 ・絵を使って言葉のイメージをもたせる。	
7	本の紹介 短い文を読もう	6	○本を読み、紹介したい本を選ぶ。 ▲読んだ本の中から紹介したい1冊を選ぶことができたか。 ○「ゆっくり」「大きな声で」を意識して読むことができる。 ▲文の内容を理解できる	・校内の図書室や図書コーナーを利用する。	
9	本の紹介POP作り	8	○おススメの本の紹介POPを作る。 ▲題名や本の内容をまとめることができたか。	・POPの作品例を提示する。	
10	物語を読む	8	○あらすじの展開や登場人物に気を付けて読む。 ▲あらすじや登場人物が分かったか。	・登場人物の気持ちが分かりやすいようにロールプレイを行う。	
11	手紙を書く	8	○相手や目的を考えて年賀状を書く。 ▲年賀状を書くことができる。	・文例を提示する。 ・年賀状を送る文化に触れる。	
12	敬語	6	○丁寧な言葉で話したり書いたりする。 ▲場面や相手を考えて、丁寧な言葉で話したり書いたりすることができたか	・職場や家族などの場面を想定した会話のやりとりを行う	

1	手紙を書く はがきの出し方	6	○お世話になった人へ手紙を書く。 ▲丁寧な言葉で書くことができたか。 ○はがきを書く。 ▲はがきの出し方が分かったか	・文例や構成の例を提示する。
2	作文	6	○今1年間の活動を振り返る。 ▲今年一年の出来事を振り返り、自分の思い出や感想を伝えることができる	・1年間を振り返るための資料や写真などを提示する。
3	作文	4	○1年間の活動を振り返り、自分の気持ちを文章で表現する。 ▲出来事や感じたことを自分なりの言葉で書くことができたか。	・1年間を振り返るための資料や写真などを提示する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	社会
グループ名、人数	4グループ 10名		担当教員	◎川上、宮本	
ねらい	(1) 国民生活や社会参加するためのきまり、公共施設の役割を理解する。 (2) 国内外の様々な地域、出来事に関心をもつ。 (3) 学習したことを生かし、社会に主体的に関わろうとする態度を養う。				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	自分が住む地域	7	○自分が住む地域の特色(道路、地形、地図、地図記号) ○公共施設の役割 ○美術館や博物館、資料館等の利用の仕方 ▲地図を見て道路、線路、河川、山の見分けがつく。 ▲公共施設の利用の仕方が分かる。 ▲調べるにあたり、地図や ICT 機器を活用することができる。	・学校周辺の公共施設や特色、歴史の移り変わりについて触れる。 ・ICT 機器を活用できるように、手順をモニターで移すなど自発的に ICT 機器が利用できるように配慮する。	
6	我が国の国土の自然環境と国民生活	3	○災害の種類や発生の位置や時期、防災対策 ▲自分の地域での風水害を調べることができる。	・マイトimelineなどを使用し、風水害における避難行動を確認できるようにする。	
7 9	産業と生活 社会参加のきまり 都道府県	8	○生産、消費などの経済活動(色々な仕事) ▲説明を受け、製造業やサービス業などに自分の力で分類することができる。 ○生産、消費などの経済活動 ▲売り手と買い手のことを考えて、ロールプレイをすることができる。 ○社会生活に必要な決まり(選挙と自治) ▲生徒会選挙が無記名投票である理由を理解できる。	・インターンシップや進路見学会、現場実習先など題材にする。 ・消費者、販売者双方の役を体験できるように、計画する。 ・選挙のルールについても触れる。	
			○修学旅行で行く都道府県の特色を知る。 ▲修学旅行先の都道府県の暮らしや歴史、生産品などを調べたり、まとめたりできる。	・調べたりまとめたりするときには、情報機器を活用する場面を設定する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	数学
グループ名、人数	4グループ 10名		担当教員	◎飯樋 高橋 杉山	
ねらい	(1) 整数、少数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、計器を用いた測定の仕方を身に付け、図形を作図したり、構成したりする技能を身に付ける。 (2) 身の回りの事象を、数や量に着目して捉え、単位を用いて的確に表現する力を身に付ける。数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かす。計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見出すとともに、日常生活に生かす。 (3) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学 (日本教育研究出版)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	四則計算 電卓計算		○基礎的な計算問題 ▲基礎的な四則計算に取り組み、正確な解答に近づいたか。 ▲電卓を正確に操作することができたか。	・プリントなど、段階に応じた課題を用いる。	
4 5 6 7	カレンダー 単位と測定 金銭計算	25	○日常生活に必要な単位 ▲生活に必要な「単位」について正しく理解している。 ○カレンダーの学習 ▲行事や休日を確認しながら、自分たちのスケジュールが分かる。 ○合計金額やおつりの計算 ▲チラシなどから、必要な物を選び、購入計画を立てることができる。	・ICT機器により、視覚的な教材を提示する。 ・具体物を用意し、生徒が単位を見比べられるようにする。 ・日常生活に関する身近な事柄を題材にする。	
9 10 11 12	データの活用 時刻と時間	25	○表やグラフの読み取り ▲基礎的な表や棒グラフを読み取ったり、結果を見つけたりすることができる。 ○生活に必要な時刻と時間の単位 ▲残り・経過時間など、簡単な時刻や時間を求めることができる。 ▲日、午前、午後、時、分、秒などの関係を理解する。	・成果が見えるように時間を記録する。 ・カラーチラシ等を使用し、楽しく行えるように工夫する。 ・毎朝の登校や待ち合わせ等、身近な題材を取り上げる。	
1 2	図形	15	○三角形や四角形 ▲基本的なそれぞれの平面図形の違いを理解している。 ▲身の回りの物の形を図形として捉えることができる。	・身近な具体物と図形を関連付ける数学的活動を取り入れる。	
3	まとめ	5	○1年間の学習の振り返り ▲この1年間で学んだことを、フィードバックし定着を図る。	・学習したプリントを再度行い、確認をしていく。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	美術
グループ名、人数	3・4グループ 20名		担当教員	◎坂尾 鈴木 福田 三浦	
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	○造形活動を生活の中で生かす。 ▲制作を介したコミュニケーションができる。 ○成功体験を積み重ね自信を高める。 ▲造形活動に対し自信を高めながら前向きに制作できる。 ○自他の作品の良さに気付く。 ▲個々の作品の違いや工夫を見つけることができる。	・造形活動を通して人と関わり作品を生かせる場をつくる。 ・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。	
4 5 6 7	オリエンテーション	4	○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。 ▲制作活動に興味・関心をもち活動に意欲的に参加できる。	・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。	
9	ポスターデザイン	8	○経験した描画法や親しみのあるデザインを応用しポスターを作る。 ▲表す形を意識し、デザインできる。 ▲説明を聞き、道具を適切に使うことができる。	・制作方法を具体的な見本などで分かりやすく提示する。 ・反復し技術習得できるようにする。	
	絵画 構成	14	○日本の伝統美術から学ぶ。 ▲伝統絵画のモチーフや文様などの色や形に興味をもてる。 ○モダンテクニックなどの基本的な技法を用いて制作をする。 ▲技法を取り入れて制作できる。	・体験とつながる題材を取り上げ、伝統美術への興味関心を高められるようにする。 ・扱いやすい材料を用いる。	
10 11 12	文化祭に向けた 取り組み	14	○文化祭舞台道具を制作する。 ▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。	・仲間と協力して制作できるようにする。	
	絵画 デザイン	14	○暮らしを彩る季節の飾りをつくる。 ▲季節を意識して制作し作品で生活を彩ることができる。	・季節や制作のイメージがもてる動画を提示する。	
1 2 3	立体制作	16	○フェルトで立体作品を作る。 ▲道具の使い方や制作方法に慣れ制作することができる。	・写真や具体的な見本を用い、分かりやすく伝える。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	音楽
グループ名、人数	3・4グループ 20名		担当教員	◎恩村 (程田 三浦 田中) (武山 宮本 坂尾)	
ねらい	(1) 音楽表現の技能(歌唱、器楽、身体表現等)を身に付ける。 (2) 音楽の雰囲気や美しさを感じながら、音楽を聴くことができる。 (3) 音楽活動を通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。				
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	レッツコーラス「音楽之友社」		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	発声練習 鑑賞 「生演奏」 共通教材 「日本歌曲」	通年	○姿勢や発声を意識して歌う。 ▲音の高低、リズムの違いに気づき、発声する。 ○我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲興味関心をもって、意欲的に鑑賞している。	・姿勢や発声について、カードや模唱で提示する。 ・演奏に注目できるように環境を整える。	
4	身体表現 「花は咲く」他	20	○歌詞の内容を感じながら、歌や身体動きで表現する。 ▲振り付けを覚え、音楽の流れに合わせて身体表現をすることができる。 ○拍を意識して、太鼓をたたく。 ▲基礎的な奏法を覚え、身体全体をしながら演奏できる。 ○手話歌のサインを覚え、歌をサインや歌で表現する。 ▲歌詞を覚え、曲に合わせてサインや歌で表現できる。	・映像の活用や、教員が手本を丁寧に示すなどの支援を行い、イメージをもちやすくする。 ・締太鼓の下打ちで拍を明確に示すことで、リズムを感じて演奏できるように支援する。 ・正面で手本を示し、部分的に繰り返しながら定着を図る。	
5	器楽 「和太鼓」 歌唱 「校歌」他				
6					
7					
9	器楽 「合奏」	35	○有音程の楽器と合わせて、打楽器等も活用し合奏をする。 ▲合奏の楽しさや達成感を味わう。 ○様々な種類の音楽に触れ、楽器の音色に親しむ。 ▲音色を感じ取りながら鑑賞することができる。 ○リズムにのって模倣しながら歌ったり身体を動かしたりする。 ▲自分のパートの役割を意識しながら、表現することができる。	・タイミングが分かりやすいよう、視覚的に分かりやすい楽譜を用意する。 ・生徒がイメージをもちやすい楽曲を題材に用いる。 ・動きのパターンを決めるなど、生徒が見通しをもって取り組めるように支援する。	
10	鑑賞 「生演奏」 歌唱・身体表現 「文化祭での歌やダンス」				
11					
12					
1	歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」	15	○旋律をのびやかに歌う。 ▲歌詞を覚えて、旋律の動きを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・視聴覚教材を活用してイメージをもちやすくする。	
2	「国歌」				
3					

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	理科
グループ名、人数		4グループ 10名		担当教員	◎川上、宮本
ねらい		(1) 自然の事物・現象についての基本的な知識を理解する。 (2) 基礎的な観察や実験を行い、初歩的な技能を身に付ける。 (3) 自然に関心をもち、自然を愛する心情を養う。			
年間授業時数		17 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
10	植物の成長	3	○植物の発芽、成長など ▲おしべ、めしべ、がく、花びら等を知り、分類ができるようになる。 ▲農園芸班の野菜や植物なども知る。		・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・農園芸班とも連動する。
11 12	天気の変化	5	○雲の量や動きに着目して天気の変化と関連付ける。 ▲雲の量や動きなどで天気を予測できる。 ▲防災にもかかわることを知ることができる。		・実際の天気や雲の動きを観察する。 ・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。
1	物の溶け方	5	○食塩や砂糖などを温度の違う水に溶かす。 ▲物が溶けると重さはどうなるのかを知ることができる。 ▲水の物が溶ける様子を動画等で確認する。		・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。
2 3	電流の働き	4	○電流の働き ▲電流などの電気の基礎的な知識を身に付ける。 ▲電気の安全な使い方を知る。		・乾電池などを使い、基礎的な実験を行う。 ・身近な電化製品などを題材にする。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	○3.4グループ 20名		担当教員	◎松本 (火)飯樋、伊神 (水)坂尾、福田 (木)川上、藤代、恩村	
ねらい	(1) 運動を通して、運動技能を高め、体力の向上を図る。 (2) 集団行動を通してルールを守り、友達と運動を楽しむ気持ちを養う。 (3) 体と心の知識を深め、卒業後も健康で安全な生活を送る気持ちを育てる。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育 (東洋館出版社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	体づくり運動 集団行動	通年	○集合・整列・体操 ○りずむ運動 ○アジリティ運動 ○ダンス ▲内容が分かり行動できる。	・集合隊形の位置や向きや距離などに配慮する。	
4	陸上競技	11	○短距離走・リレー ▲目標タイムを設定し記録の向上を目指して練習ができる。	・目標や距離を明確にして取り組む	
5	陸上競技 ダンス	8	○短距離走・リレー ▲目標タイムを設定し記録の向上を目指して練習ができる。	・目標を分かりやすく示す。	
6	保健 健康保持	2	○生活のリズム、栄養、睡眠 ▲健康的な生活を送るための方法を知る。	・知識と方法の定着ができるように、講義や実践を工夫する。	
6 7	水泳	11	○泳法練習、水の特性の理解 ▲ルールを守り、安全に活動することができる。	・視覚教材を使ってルールを分かりやすくする。	
9	器械運動	11	○平均台運動 ▲様々な体の使い方ができる。	・手本を示す。 ・繰り返し取り組む。	
10	球技	12	○ボッチャ ▲簡易ルールを理解して試合を行うことができる。	・様々な道具で難易度を設定する。	
11	武道	5	○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼法や基本技の示範の動きを、模倣して動いている。	・映像教材を活用する。	
12	球技 保健	9 2	○バスケットボール ▲シュートやパス、簡単なゲームに取り組んでいる。 ○性教育授業の取り組み パブリックとプライベート	・内容を明確に示し、繰り返す。 ・視覚的に理解しやすい教材を活用する。	
1	陸上競技	11	○長距離走、インターバル走 ▲自らの力で取り組み続けることができる。	・距離や時間を明確に示し、個々の走力に応じて設定する。	
2	球技	12	○ワンベース ▲攻撃と守備で取り組むことが分かる。	・動きを単純にし、簡単な指示やジャスチャー等で伝える。	
3	球技	11	○ワンベース ▲攻撃と守備で取り組むことが分かる。	・動きを単純にし、簡単な指示やジャスチャー等で伝える。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	職業
グループ名、人数		4グループ 10名	担当教員	◎坂尾 高橋	
ねらい		(1) 仕事について関心をもち、基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2) 体験や取り組んだ活動を発表することができる。 (3) 軽作業に取り組む中で、自己理解(長所、短所)を知る。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション(日本教育研究出版)	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶、報告 軽作業	通年	○挨拶の練習 ▲自分から挨拶や報告ができる。 ○軽作業 仕分け、分類等。	・挨拶の仕方を手本で示したり、視聴覚教材を使用したりして進める。	
4	進路に向けて身だしなみ	2	○ガイダンス・身だしなみについて ▲1年間の進路学習について知り、清潔について考える。	・実態に応じたワークシートを準備する。	
5	プロフィール	3	○自分の事を知る ▲簡単な質問に答えることができる。	・二者択一など選択しやすい質問や教材作成を行う。	
6	余暇活動について	6	○余暇活動を考える ▲余暇活動の種類や楽しみ方について理解を広げる。	・ICT機器を使用したり、具体的な事例を用いたりする。	
7	働くことについて	5	○就業体験を踏まえて、働くことを考える。 ▲実際に働くことを考える。	・順序や項目をチェックリストにする。	
9	現場実習事前学習	3	○現場実習での目標や注意点、しおりの記入の仕方、通勤の仕方など、事前学習を行う。 ▲現場実習に向けて意欲的に準備を行うことができる。	・必要に応じて、事業所の写真や事業所までの地図などを用意し、視覚的な支援を行う。	
10	様々な職種を知る	2	○働くことについて興味関心を広げる ▲やりたい仕事を選択できる。	・DVDやテレビ番組などを教材とし、興味関心を広げる。	
11	軽作業	5	○指先のトレーニング ▲与えられた課題に取り組み、指先の巧緻性を高めることができる。	・作業をする際の机配置を集中できる形に整える。	
12	余暇活動について2	4	○余暇活動を考える2 ▲自分の趣味、やりたいことを選択し、発表することができる。	・体験できる活動を準備し、選択できるようにする。	
1	卒業生から学ぶ	2	○卒業生の就労先を知り、自らの卒業後の生活や就労生活をイメージする。 ▲先輩の仕事や生活を知る。	・記録を自主的に取れるようワークシートを用いる。	
2 3	1年間の振り返り	3	○1年間のまとめ ▲学んだことを振り返ることができる。	・選択型のワークシートなど活用して、取り組む。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	家庭
グループ名、人数		3・4グループ 20名	担当教員	◎ 杉山、横山、伊神、滑川	
ねらい		(1) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたいことを実現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	外食のカロリーガイド(改訂版)	
月	単元(題材)名	指導時	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通	住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	毎時	○掃除・ごみの分別 ▲正しく分別することができたか。	・被服室、調理室ごとに掃除の手順やごみ箱等を分かりやすく表示する。	
4	布を用いた製作	4	○基礎縫い 糸通し・玉結び・並縫い。 ▲手本を見て、同様の手順で作業をしようすることができる。	・実際に正しい方法を師範する。 ・作品の出来上がりをイメージできるように、完成品を提示する。 ・縫い方や縫う方向等、生徒の実態に応じて印をつけて示す。 ・返し縫いの手順を視覚的に示す。	
5		8	○スウェーデン刺繍 ▲目を正しくすくうことや模様刺し等ができる。		
6		8	○ミシンの操作を体験する。 ▲縫い始めと終わりにボタンを押して縫い進めることができる。		
7	家庭生活 日常食の調理	6	○家庭生活での役割 ▲家庭の仕事を知り、やってみようと思う。 ○郷土料理を知り、作ろう ▲郷土料理に興味を示そうとする。	・自分の生活と照らし合わせて具体的に考えられるようにする。 ・地方による調理法の違いについて提示する・実際に食材を見る、触れる等提示する。 ・刺繍・ミシンがけ共に同上。	
9	布を用いた製作	8	▲基本的な調理道具の扱い方や計量カップを使って、計量ができる。 ○スウェーデン刺繍を用いた「エプロン製作」 ▲刺繍・ミシンがけ共に同上。		
10	布を用いた製作	8	○スウェーデン刺繍を用いた「エプロン製作」	・刺繍・ミシンがけ共に同上。	
11		6	▲刺繍・ミシンがけ共に同上。		
12	日常食の調理	6	○簡単な1品料理をつくる。	・一つ一つの手順や方法が分かりやすいように手本や図や動画で示す。	
1		6	▲基本的な切り方を知り、実践できる。		
2		4	▲安全で衛生的に調理を行う。		
3	衣類の手入れや服装のマナー	6	○衣類の手入れの仕方を知る。 ○服装のマナーを知る。 ▲洗濯やアイロンがけができる。 ▲場面や場所に合わせた服装のマナーや装い方、服の選び方を知る。	・実際に洗濯機やアイロンを使って理解を促す。 ・外部の専門家による服装についての講習を設定し、理解を促す。	

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	特別活動
グループ名、人数	学年全体 65名		担当教員	学年教員	
ねらい	(1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	高等部の生活を楽しまう	6	○学年オリエンテーション (2年生の授業や行事を知る) ○学級目標決めと整理清掃活動 ○個人目標決めと整理清掃活動 ○係活動決めと整理清掃活動 ▲2年生の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。	・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるよう教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション	
5 ~ 3	学級で活動しよう	15	○学級活動(体育学習発表会・校外学習・文化祭・現場実習などの活動の理解、準備反省)と清掃活動 ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意思や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。	・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすきようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。	
6 7	修学旅行について	4	○修学旅行について理解する ▲行程を具体的に知る。 ▲宿泊先や見学先の活動内容を知る。	・視覚教材を利用したり、選択肢を示したりして理解しやすくする。	
9 10 11 12	学年集会をしよう	8	○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備と清掃活動 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の枠割をはたす。	・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。	
3	2年生のまとめ	2	○学級目標反省と整理清掃活動 ○個人目標反省と整理清掃活動 ○係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気づき、尊重する。	・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	日常生活の指導
グループ名、人数	S類型 46名		担当教員	S類型担任	
ねらい	(1) 身だしなみなどに配慮しながら身の回りのことを処理し、持ち物などを自己管理できる力を身に付ける。 (2) 挨拶や返事ができ、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、自立的な生活をするための能力と態度を育てる。 (3) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	175 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶 返事 身辺処理 着替え 衛生 健康管理 朝の会 帰りの会 日直 係活動	175	○挨拶や返事を自分から行う。 ▲自分から元気よく挨拶・返事ができる ○場面に応じた丁寧な言葉遣いができる。 ▲丁寧な言葉遣いや態度で人と接することができる ○食事のマナー、身辺処理、健康管理、身だしなみなど社会生活に必要な力を身に付ける。 ▲社会生活を送る上で基本的な力を身につけられる。 ○自分の持ち物を管理する。 ▲持ち物を自分で管理できる ○うがいや手洗いなどの習慣を身に付ける。 ▲自分からうがいや手洗いを行うことができる ○日課帳を自分から所定の場所に出すことができる。 ▲日課帳を所定の場所に出すことができる。 ○一日の予定を知り見通しをもって生活できる。 ▲一日を日記記入や発言で振り返る。 ○翌日の予定を日課帳に記入したり確認したりすることで心構えを作る。 ▲翌日の予定を把握できる ○日直の流れを理解して進めることができる。 ▲日直の流れを理解している。 ○自分のやりたいことを選び、進んで取り組む。最後までやり通す力を身につける。 ▲自分の係を自覚し、継続してできる。	・教員が模範となる。 ・要所で言葉かけを行い身に付ける。 ・継続して指導する。 ・場所を固定し動線を分かりやすくする。 ・個々の力に応じた言葉掛けに努める。 ・定着するよう、継続して取り組む。 ・係の仕事内容を具体的に示し、取り組むべき時に言葉掛けをする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数		S・O類型 62名		担当教員	B、C、D、E、F、G、H、I組担任
ねらい		(1) 行事の準備を通して内容を知り、目標をもって意欲的に活動する。 (2) 季節行事に関わる活動を通し、日本や外国の文化に触れる。 (3) 行事等の事後学習を通してできたことを振り返り、自信をもつ。 (4) 社会人になるための準備として、様々なことを経験する。			
年間授業時数		35単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4	学校生活に慣れよう	2	○授業内容や行事について知る ▲説明にそって必要事項を記入する。		・各自のしおりに記入する。
5	体育祭を成功させよう	5	○体育祭の事前・事後学習 ▲参加種目を意識して活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。		・体育の学習と関連をもたせて指導する。
6 7 9	世界の国を知ろう	3	○外国人講師との交流を通して、外国の行事や文化を知る。(ALTによる学習) ▲関心をもって外国人講師と交流することができる。		・興味関心のある題材を使用し、外国人講師に自国の特徴や日本との違いを話してもらおう。
	校外学習に行こう	4	○校外学習の事前・事後学習 ○校外を集団で安全に移動する。 ▲行事の内容を知り、意欲を高める。 ▲マナーやルールを守り行動できる。		・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。
	修学旅行へ行こう	6	○修学旅行の事前学習 ○校外の安全な歩行 ▲行事に見通しや期待感をもつ。 ▲マナーやルールを守り歩行できる。		・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。
10 11 12	文化祭を成功させよう	6	○文化祭の事前・事後学習 ○友達と協力しての道具制作を行う ▲自分の役割を意識して活動できる。 ▲友達と協力して製作する。		・イメージがもてるよう視覚教材を使用する。 ・他の教科と関連をもたせて指導する。
1	選挙の仕組み	3	○投票の流れの練習 ▲選挙の投票所での流れを知る。		・視覚教材や実物に近い教材を使用する。
2	長距離走記録会に向けて	3	○長距離走記録会の事前・事後学習 ▲記録会の内容を知り見通しをもつ。		
3	卒業式にむけて	3	○卒業式の内容を知りイメージをもつ。 ○儀式にふさわしい行動を学ぶ。 ▲落ち着いて儀式に参加することができる。		
					・式の流れについて視覚的教材を用いて、見通しをもちやすくする。 ・落ち着いて参加できるように繰り返し行う。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数	65名		担当教員	2年生教員	
ねらい	(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。				
年間授業時数	35単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	以下の5グループに分かれて選択活動を行う。 ・情報 ・国際文化 ・芸術 ・スポーツ ・環境	2	【すべてのグループ】 ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。 ○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。 ○生活に身近な情報の入手方法等を調べる。 ○地域の外国人とその人たちが大切に行っている文化や価値観について、調べたり、体験したりする。 ○日本の伝統文化を調べたり、体験したりする。 ○ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など ○地域の自然環境や環境問題について調べたり考えたりする。 ▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。 ▲問題意識あるいは興味・関心を持ち、情報を整理し、発表することができたか。 ▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。 ・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。 ・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。 ・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。 ・問題意識をもち情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
5		3			
6		4			
7		3			
9		3			
10		4			
11		4			
12		3			
1		3			
2		3			
3		3			

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班 13名		担当教員	◎野中 武山、杉山、伊神、恩村、滑川 (月)高橋 (金)高取、齋藤	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 作業で働くことの楽しさ、頑張る経験を通して、仕事に対する意欲を高め、仲間と協力できる力を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	出席確認、挨拶、返事、報告、準備、片付け、清掃	通年	○挨拶、作業前後の準備等 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。	・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・報告は、手を挙げる、VOCA 機器を活用するなどし、自ら表出できるようにする。 ・文字や写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。	
4月～3月	紙工作業（製品作り、材料作りにおける工程） 軽作業 シュレッダー	245	○パルプちぎり、ラミネートはがし、紙ほし、ミキサーがけ、流し込み、紙すき、紙折り等 ▲ラミネートはがし、紙干し、パルプちぎり等の工程を継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、ハサミや裁断機の使用など、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーによるパルプ液作り、型詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。	・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。 ・生徒が行いやすい自助具を取り入れる。 ・生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせて、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせて、作業の量や時間、行程内容を調整する。 ・工程の画像などを提示する。	
2月	就業体験		○1年間の振り返り ▲1年間の活動を振り返り、自ら行った工程がわかる。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班 13名		担当教員	◎川上、坂尾、程田
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4 5	・オリエンテーション ・クラフト班の仕事を知る。	24	○報告・連絡・相談 ▲適切な挨拶、報告ができる。 ○ラジオ体操やストレッチ ▲安全のために体の状態を整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。		・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・挨拶、報告の練習時間を設ける。
6 7 8 9 10 11	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	76	○作業準備と片付け○木材加工切断 ○やすりがけ○組立○仕込み・塗装・仕上げ○アイロン○ミシン○レザークラフト○紙工 ▲作業内容、工程を理解し、自分から意欲的に作業できる。 ▲適切な挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。		・視覚的に分かりやすく示す。 ・毎時間の作業量の目安や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分の力で作業を行えるようにする。
	・現場実習	30	○挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行う、時間を守る、準備や片付けを積極的に行う等、就労に適した態度・言葉遣い等ができたか自己評価し、これからの課題の整理を行う。		・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。
11 12	・文化祭で製品を販売する。 ・販売に向けて製品を作る。	20	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業できる。		・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。
1 2	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	75	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業できる。		
3	1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。		・次年度につながる評価表にする。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		農園芸班 11名		担当教員	◎鈴木、宮本、藤代、菅原
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通年	職業生活	通年	○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。		・ロールプレイを行う。 ・視覚教材を用い具体物を見せる。
4	オリエンテーション	2	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。		・口頭と文章の説明だけでなく、写真やビデオ、具体物を使って分かりやすく説明する。
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農作物の栽培と管理	243	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬などを使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ▲追肥ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。		・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気付けるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 12名		担当教員	◎横山、飯樋、松本、三浦	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	職業生活	通年	○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました」「確認お願いします」などが言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
	事務 ・販売POP作り ・シール貼り等		○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・ラベル貼りの補助具を活用する。	
	調理 「計量」		○デジタルスケールの扱い方 ▲デジタルスケールの正しい使い方ができる。	・視覚的に分かりやすい表示をする。	
4	オリエンテーション	23	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程がわかる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真やビデオを使い分かりやすく説明する。 ・定着するよう繰り返し取り組む。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・パン ・焼き菓子 販売	67	○打合せ、目標の確認、本日の内容 ▲日誌に目標や作業分担を記入しながら、その日の活動が分かる。 ○身だしなみ、着替え、手洗い ▲身だしなみを整える順番を覚える。衛生面に気を付けて手洗いをする。 ○成型 ▲指示された通り、パンや焼き菓子の種類に応じた成型ができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、慣れるまでは読み上げながら作業をする。 ・正確に計量できるように繰り返し練習する。 ・大体の量を視覚的に分かるように見せる。	
9 10 11 12 1 2	調理 (製品作り) ・パン ・焼き菓子 販売	135	○袋詰め ▲グラムや向きを合わせて製品を袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭の判断ができる。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。 ○洗浄・片付け ▲すすぎ残しや拭き残しをなくす。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。 ・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・製品に応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて次年度の意欲につなげる。	